

5 監 査 第 5 6 号

令和5年8月22日

京丹後市長 中 山 泰 様

京丹後市監査委員 鈴 木 修 一

京丹後市監査委員 川 戸 一 生

令和4年度京丹後市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和4年度京丹後市公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計・病院事業会計）の決算について審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

令和4年度

京丹後市公営企業会計決算審査意見書

京丹後市水道事業会計

京丹後市下水道事業会計

京丹後市病院事業会計

京丹後市監査委員

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
【水道事業会計】		
1	事業の概況	5
2	予算執行状況（税込）	5
(1)	収益的収入及び支出	5
(2)	資本的収入及び支出	5
3	経営成績（税抜）	6
4	財政状態（税抜）	6
5	むすび	7
	決算審査資料	9
【下水道事業会計】		
1	事業の概況	21
2	予算執行状況（税込）	21
(1)	収益的収入及び支出	21
(2)	資本的収入及び支出	21
3	経営成績（税抜）	22
4	財政状態（税抜）	23
5	むすび	24
	決算審査資料	25
【病院事業会計】		
1	事業の概況	37
(1)	入院患者の状況	37
(2)	外来患者の状況	37
(3)	訪問看護事業の状況	38
(4)	通所リハビリテーション事業の状況	38
2	予算執行状況（税込）	38
(1)	収益的収入及び支出	38
(2)	資本的収入及び支出	38
3	経営成績（税抜）	39
4	財政状態（税抜）	40
5	むすび	41
	決算審査資料	43

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和4年度京丹後市水道事業会計決算
令和4年度京丹後市下水道事業会計決算
令和4年度京丹後市病院事業会計決算
上記各会計決算附属書類

2 審査の期間

令和5年6月29日から令和5年8月22日

3 審査の方法

審査に当たっては、市長から提出された各事業会計の決算書及び附属書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、各事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかを確認するため、関係諸帳簿と照合したほか、関係職員から説明を聴取して実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各事業会計決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、これらに記載された計数は正確で、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、おおむね適正に行われているものと認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

なお、文中及び表中の数値は、四捨五入を基本として（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）表示しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

京丹後市水道事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表1のとおりである。

令和4年度末現在の給水人口は、48,267人で前年度に比べて1,193人減少したが、給水件数は24,280件で、前年度に比べて83件増加となっている。

前年度に比べて、年間総有収水量は5,681,616 m³と30,302 m³減少し、年間総配水量は6,983,352 m³と99,599 m³の減少となっている。

有効率は83.56%で対前年度比0.72ポイントの減少、有収率は81.36%で対前年度比0.72ポイントの増加となっている。

給水人口が年々減少していることに加え、社会経済情勢や生活様式の変化に伴う市民の節水意識の向上などによる水需要の変動については、引き続き注視していかねばならない。

管路の状況は、管路総延長793.89kmのうち、石綿管は5.88km(0.7%)と1.10kmの改善が図られているが、有収率の向上を図る上からも、引き続き老朽管の布設替等が必要である。早急かつ効率的に更新を進められたい。

2 予算執行状況(税込)

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、別表2のとおりである。

収益的収入である水道事業収益は、予算額15億6,291万9千円に対して決算額15億501万3千円で、収入率は96.2%となっている。これは、消費税及び地方消費税還付金が7,526万4千円予算額を下回ったことなどによるものである。

収益的支出である水道事業費用は、予算額16億7,309万1千円に対して決算額15億2,608万4千円で、執行率は91.2%である。不用額の主なものは、営業費用で原水及び浄水費1億202万5千円である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、別表3のとおりである。

資本的収入は、予算額18億4,609万1千円に対して決算額11億3,557万円で、収入率は61.5%である。これは、予算額に対して企業債が5億6,850万円、他会計出資金が1億4,370万円下回ったことによるものである。

資本的支出は、予算額24億7,610万8千円に対して決算額17億1,370万8千円で、6億8,106万2千円を翌年度に繰り越し、執行率は69.2%となった。主な不用額は、施設改良事業費5,492万3千円である。翌年度繰越分の内訳は、施設改良事業費3億4,260万円、中野浄水場更新整備事業費1億1,246万2千円、中野水系配水池更新整備事業費2億2,600万円である。

施設整備については、安全で安心な水道水の安定供給を図るために、中野浄水場更新工事、下水道工事及び道路改良工事に併せた老朽管の布設替工事などが計画的に実施されている。中野浄水場更新工事は、将来を見通した的確な財務分析による計画的かつ効率的な事業推進を期待するものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 5 億 7,813 万 8 千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 9,627 万 8 千円、過年度分損益勘定留保資金 4 億 8,186 万円で補てんしている。

3 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、別表 4 のとおりである。

総収益 13 億 6,039 万 5 千円に対して総費用は 14 億 8,049 万 6 千円で、差し引き 1 億 2,010 万 1 千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金 2 億 8,035 万 1 千円を加え、当年度未処理欠損金は 4 億 45 万 2 千円と増加した（別表 9 参照）。

総収益は、営業収益の給水収益（水道料金）が 349 万 2 千円、営業外収益の長期前受金戻入が 684 万 4 千円減少したことなどにより、前年度に比べて 1,020 万 7 千円（0.7%）の減少となった。

総費用は、前年度に比べて 4,192 万 1 千円（2.9%）の増加となった。営業費用では原水及び浄水費が 6,108 万 1 千円、資産減耗費が 1,234 万 7 千円増加し、減価償却費が 1,576 万 1 千円減少している。

有収水量 1 m³当たりの供給単価は 187 円 38 銭で対前年度比 0 円 39 銭、給水原価は 233 円 39 銭で対前年度比 9 円 77 銭とどちらも高くなっている。その結果、有収水量 1 m³当たりの赤字額は前年度に比べて 9 円 38 銭増加し、46 円 1 銭となった。給水人口の減少とともに、電気、動力費また原材料単価の高騰が大きいと考えられる（別表 1 参照）。

また、総収支比率は、別表 5 のとおり 91.9%と 13 年連続して純損失を生じており、経常収支比率も 91.9%で 12 年連続の単年度赤字となった。この経営の安定に関する指標については昨年までは毎年改善されている傾向にあったが、今年度決算においては多少悪化している。

4 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、別表 6～9 のとおりである。

資産の総額は 174 億 1,366 万円で、前年度に比べて 1 億 145 万 6 千円（0.6%）増加している。固定資産は、機械及び装置が 1 億 5,599 万 2 千円減少した一方で、構築物が 2,188 万 8 千円、建設仮勘定が 5 億 9,076 万 2 千円増加した。流動資産は、現金預金が 1 億 5,052 万円で、前払金が 1 億 9,124 万 4 千円減少した一方で、未収金

が2,146万5千円増加した。

流動資産である水道料金の未収金の状況は、別表10のとおりである。

未収金の総額は1億8,153万円1千円で、前年度に比べて420万7千円、件数は1,447件増加している。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、債権放棄128件、48万7千円の不納欠損を処理した。

負債の総額は124億2,711万4千円で、前年度に比べて3億6,002万4千円減少した。固定負債の減少は、企業債7,543万円が減少したことによるものであり、流動負債の減少は、前受金が1億1,100万円、未払金が7,196万8千円、一時借入金6,400万円減少したことなどによるものである。

資本の総額は49億8,654万6千円で、前年度に比べて4億6,148万円(10.2%)増加している。資本の増加は、利益剰余金が1億2,010万1千円減少したものの、自己資本金が5億8,158万1千円増加したことによるものである。

企業債の状況は、次のとおりである。

(決算書P29, P36 参照)

(単位：千円)

令和3年度 末残高	令和4年度		令和4年度 末残高	令和4年度 支払利息
	発行額	償還額		
9,150,374	475,200	618,777	9,006,797	119,638

企業債残高は90億679万7千円で、前年度に比べ1億4,357万7千円(1.6%)減少した。企業債利息は1億1,963万8千円で、営業収益(税抜)10億8,744万8千円に占める割合は11.0%と、前年度に比べて0.6ポイント減少している。(別表4参照)

5 むすび

水道事業会計の経営成績(税抜き)は、事業収益13億6,039万5千円に対して事業費用は14億8,049万6千円、差し引き1億2,010万1千円事業費用が上回り、13年連続の当年度純損失となった。また、経常収支についても12年連続の赤字である。従来からの赤字経営体質に加え、令和元年度に行った簡易水道事業の統合によって多くの施設を抱え、より一層厳しい経営状況となっている。

収益面では、少子高齢化及び人口減少による給水人口の減少、節水型家電製品の普及、節水意識の向上などによって水需要の増加が見込めない状況にあり、加えて原材料単価の高騰などによる影響が大きく、収益の安定した確保が懸念される。

費用面では、基幹施設である中野浄水場の更新整備事業や老朽管の布設替工事、また、簡易水道事業の統合により、小規模水道施設が点在するなど、今後も多額の設備

投資が必要であり、経営状況はますます厳しいものとなることが予測される。給水原価や有収率などを地区単位で分析することによって、給水人口及び水需要に応じた施設の統廃合や給水エリアの変更が検討され、効率的な事業運営と管理体制が構築されることを期待する。また、災害対策や緊急時の危機管理等の強化といった点にも留意して、不測の事態が生じても将来にわたって水道事業の健全な運営が確保できるよう備える必要があり、維持管理経費等の更なる削減を図るなど一層の努力が望まれる。特に簡易水道事業の統合によって水道施設数は増加しており、持続可能な水道事業の実施に向けた、施設の統廃合等を考えていくことが必要である。

水道料金の未収金については、令和4年度末の未収金額は1億8,153万円であった。未収金対策として、従来から年4回の給水停止などを実施していたが、令和4年度については、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の生活への影響を考慮し、給水停止を実施しなかった。徴収の見込めない不良債権については、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき不納欠損を処理するなど、滞納整理の努力が見られるが、依然として多額の未収金を抱えている。利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも適正な債権の管理は極めて重要であり、今後も引き続き滞納者に対する継続的な働きかけや、給水停止等の措置を行うなど、回収に向けた積極的な対応を求めるものである。また、新たな未納者の発生を防ぐため初期の徴収体制を強化するなど、収納率向上のための対策を講じる必要がある。

水道事業は、市民生活や経済活動に不可欠なものである。近年多発する自然災害などへの危機管理、対応は重要な課題であり、限られた職員数で緊急事態にも迅速に対応できる体制づくりにも取り組む必要がある。このためには、経営基盤の確立や効率的かつ合理的な事業運営に一層努められ、より安全で良質な水道水が安定的に市民に供給されるよう期待するものである。

決算審査資料（水道事業会計）

別表 1	水道事業の概要	10
別表 2	収益的収支予算決算比較（税込）	11
別表 3	資本的収支予算決算比較（税込）	12
別表 4	損益計算書（税抜）	13
別表 5	経営の安定度に関する指標	14
別表 6	資産	15
別表 7	負債	15
別表 8	資本金	16
別表 9	剰余金	16
別表 10	水道料金未収金及び不納欠損額（税込）	17

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表 1

水道事業の概要

項目	年度	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年比	
				増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
給水件数(件)		24,280	24,197	83	0.3%
給水人口(人)		48,267	49,460	△ 1,193	△ 2.4%
配水量					
年間総配水量(m ³)		6,983,352	7,082,951	△ 99,599	△ 1.4%
一日最大配水量(m ³)		24,786	21,876	2,910	13.3%
一日最小配水量(m ³)		17,042	18,290	△ 1,248	△ 6.8%
一日平均配水量(m ³)		19,132	19,405	△ 273	△ 1.4%
有収水量					
年間総有収水量(m ³)		5,681,616	5,711,918	△ 30,302	△ 0.5%
有効率(%)		83.56	84.28	△ 0.72	—
有収率(%)		81.36	80.64	0.72	—
供給単価		187円38銭	186円99銭	0円39銭	—
給水原価		233円39銭	223円62銭	9円77銭	—
資本費		110円57銭	112円73銭	△ 2円16銭	—
管路総延長(km)		793.89	793.80	0.09	0.0%
石綿管総延長(km)		5.88	6.98	△ 1.10	△ 15.8%
石綿管布設率(%)		0.7	0.9	△ 0.2	△ 22.2%

- ・給水人口 定住人口による集計
- ・有効率 $\text{年間総有効水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、一般世帯などで有効に使用された水量(漏水量を除いた水量)の割合を示す指標
- ・有効水量 有収水量+無収水量(メーター不感知分、消火栓使用分、管洗浄分等)
- ・有収率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水がどれだけ料金徴収の基礎となったかを示す指標。数値が高いほど施設効率が良いことを示し、低い場合は漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる。
- ・供給単価 $\text{給水収益} / \text{年間総有収水量}$
有収水量1m³当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す指標
- ・給水原価 $(\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入} - \text{受託工事費}) / \text{年間総有収水量}$
有収水量1m³作るために、どれだけの費用がかかっているかを示す指標
- ・資本費 $(\text{支払利息} + \text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入}) / \text{年間総有収水量}$

別表 2 水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

(1) 収 入

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
水道事業収益	1,562,919	1,505,013	△ 57,906	96.2
営業収益	1,181,607	1,193,946	12,339	101.0
給水収益	1,158,630	1,170,837	12,207	101.0
その他営業収益	22,977	23,109	132	100.5
営業外収益	381,312	311,067	△ 70,245	81.5
受取利息及び配当金	98	98	0	100.0
府補助金	10,015	10,015	0	100.0
他会計補助金	106,457	106,457	0	100.0
長期前受金戻入	149,989	154,441	4,452	102.9
雑収益	1,534	2,101	567	136.9
消費税及び地方消費税還付金	113,219	37,955	△ 75,264	33.5

(2) 支 出

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①-②	執行率 ②/①
水道事業費用	1,673,091	1,526,084	147,007	91.2
営業費用	1,537,853	1,405,263	132,590	91.3
原水及び浄水費	566,739	464,714	102,025	81.9
配水及び給水費	147,508	129,968	17,540	88.1
業務費	75,946	68,232	7,714	89.8
総係費	66,744	61,435	5,309	92.0
減価償却費	662,996	662,995	1	99.9
資産減耗費	17,920	17,919	1	99.9
営業外費用	125,238	120,821	4,417	96.4
支払利息及び企業債取扱諸費	123,972	119,638	4,334	96.5
雑支出	1,266	1,183	83	93.4
予備費	10,000	0	10,000	0.0
予備費	10,000	0	10,000	0.0

別表3 水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

(1) 収入

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
資本の収入	1,846,091	Ⓐ 1,135,570	△ 710,521	61.5
加入金	10,298	11,977	1,679	116.3
加入金	10,298	11,977	1,679	116.3
企業債	1,107,700	539,200	△ 568,500	48.6
企業債	1,107,700	539,200	△ 568,500	48.6
出資金	725,281	581,581	△ 143,700	80.1
他会計出資金	725,281	581,581	△ 143,700	80.1
補償金	2,812	2,812	0	100.0
補償金	2,812	2,812	0	100.0

(2) 支出

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本の支出	2,476,108	Ⓑ 1,713,708	681,062	81,338	69.2
建設改良費	1,838,239	1,094,931	681,062	62,246	59.5
固定資産取得費	24,528	24,516		12	99.9
施設改良事業費	814,824	417,301	342,600	54,923	51.2
中野浄水場更新整備事業費	715,473	603,011	112,462	0	84.2
中野水系配水池更新整備事業費	283,414	50,103	226,000	7,311	17.6
企業債償還金	637,869	618,777	0	19,092	97.0
企業債償還金	637,869	618,777		19,092	97.0

(3) 資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

(単位：千円)

項目	金額	備考
資本の収支差引額	Ⓐ-Ⓑ	△ 578,138
補填財源	578,138	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	96,278	
繰越工事資金	0	
過年度分損益勘定留保資金	481,860	
当年度分損益勘定留保資金	0	
利益剰余金	0	

別表 4 水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年 度 項 目	令和4年度 ①	令和3年度 ②	対 前 年 比	
			金 額③ (①-②)	比率③/②*100
水道事業収益 (A)	1,360,395	1,370,602	△ 10,207	△ 0.7
営業収益 (C)	1,087,448	1,091,064	△ 3,616	△ 0.3
給水収益	1,064,593	1,068,085	△ 3,492	△ 0.3
その他営業収益	22,855	22,979	△ 124	△ 0.5
営業外収益	272,947	279,538	△ 6,591	△ 2.4
受取利息	98	186	△ 88	△ 47.3
府補助金	10,015	10,015	0	0.0
他会計補助金	106,457	105,274	1,183	1.1
長期前受金戻入	154,441	161,285	△ 6,844	△ 4.2
雑収益	1,936	2,778	△ 842	△ 30.3
水道事業費用 (B)	1,480,496	1,438,575	41,921	2.9
営業費用	1,359,703	1,311,555	48,148	3.7
原水及び浄水費	429,010	367,929	61,081	16.6
配水及び給水費	125,743	128,534	△ 2,791	△ 2.2
業務費	63,671	64,442	△ 771	△ 1.2
総係費	60,429	66,386	△ 5,957	△ 9.0
減価償却費	662,995	678,756	△ 15,761	△ 2.3
資産減耗費	17,855	5,508	12,347	224.2
営業外費用	120,793	127,020	△ 6,227	△ 4.9
支払利息 (D)	119,638	126,456	△ 6,818	△ 5.4
雑支出	1,155	564	591	104.8
特別損失	0	0	0	—
過年度損益修正損	0	0	0	—
資産減耗費	0	0	0	—
その他特別損失	0	0	0	—
当年度純損益 (A)-(B)	△ 120,101	△ 67,973	△ 52,128	76.7
総収支比率 (A)/(B)	91.9	95.3	△ 3.4	/
支払利息/営業収益 (D)/(C)	11.0	11.6	△ 0.6	/

別表5 水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：%)

年度 項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	備 考
総収支比率	91.9	95.3	89.7	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。この率が100%未満であれば、純損失を生じている。
類似団体全国平均値	—	109.0	111.6	
経常収支比率	91.9	95.3	91.3	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表す。
類似団体全国平均値	—	109.0	111.6	
営業収支比率	80.0	83.2	77.9	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100%未満の場合は健全経営とはいえない。
類似団体全国平均値	—	91.8	95.7	

別表 6

水道事業資産

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土地	540,042	534,880	5,162	1.0
	建物	507,157	529,363	△ 22,206	△ 4.2
	構築物	11,015,753	10,993,865	21,888	0.2
	機械及び装置	1,817,865	1,973,857	△ 155,992	△ 7.9
	車両運搬具	1,503	2,838	△ 1,335	△ 47.0
	工具器具及び備品	34,327	47,999	△ 13,672	△ 28.5
	建設仮勘定	2,178,642	1,587,880	590,762	37.2
	小計	16,095,289	15,670,682	424,607	2.7
流動資産	現金預金	1,058,251	1,208,771	△ 150,520	△ 12.5
	未収金	220,223	198,758	21,465	10.8
	貸倒引当金	△ 33,689	△ 31,806	△ 1,883	5.9
	貯蔵品	9,913	10,882	△ 969	△ 8.9
	前払金	63,673	254,917	△ 191,244	△ 75.0
	その他流動資産	0	0	0	—
	小計	1,318,371	1,641,522	△ 323,151	△ 19.7
合計	17,413,660	17,312,204	101,456	0.6	

別表 7

水道事業負債

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企業債	8,328,967	8,404,397	△ 75,430	△ 0.9
	引当金	25,444	25,444	0	0.0
	その他固定負債	0	0	0	—
	小計	8,354,411	8,429,841	△ 75,430	△ 0.9
流動負債	一時借入金	63,200	127,200	△ 64,000	△ 50.3
	企業債	614,630	618,777	△ 4,147	△ 0.7
	未払金	103,821	175,789	△ 71,968	△ 40.9
	前受金	0	111,000	△ 111,000	△ 100.0
	引当金	13,962	14,974	△ 1,012	△ 6.8
	その他流動負債	2,699	1,667	1,032	61.9
	小計	798,312	1,049,407	△ 251,095	△ 23.9
繰延収益	長期前受金	4,675,405	4,566,789	108,616	2.4
	収益化累計額	△ 1,401,014	△ 1,258,899	△ 142,115	11.3
	小計	3,274,391	3,307,890	△ 33,499	△ 1.0
合計 (ア)	12,427,114	12,787,138	△ 360,024	△ 2.8	

別表 8 水道事業資本金

(単位：千円、%)

項目		年度	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年比	
					金額(C)	(A-B) 比率(C/B*100)
自己資本金	自己資本金		4,889,797	4,308,216	581,581	13.5
借入資本金	企業債		—	—	—	—
合計 (イ)			4,889,797	4,308,216	581,581	13.5

別表 9 水道事業剰余金

(単位：千円、%)

項目		年度	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年比	
					金額(C)	(A-B) 比率(C/B*100)
資本剰余金	再評価積立金		1,972	1,972	0	0.0
	加入金		17,883	17,883	0	0.0
	補助金		67,948	67,948	0	0.0
	受贈財産評価額		239,589	239,589	0	0.0
	寄附金		3,243	3,243	0	0.0
	工事負担金		35,638	35,638	0	0.0
	補償金		—	—	—	—
	小計		366,273	366,273	0	0.0
利益剰余金	減債積立金		3,600	3,600	0	0.0
	建設改良積立金		127,328	127,328	0	0.0
	当年度未処分利益剰余金		△ 400,452	△ 280,351	△ 120,101	△ 42.8
	(うち当年度純損益)		(△ 120,101)	(△ 67,973)	(△ 52,128)	(△ 76.7)
	小計		△ 269,524	△ 149,423	△ 120,101	△ 80.4
合計 (ウ)			96,749	216,850	△ 120,101	△ 55.4

資本合計 (イ)+(ウ)	4,986,546	4,525,066	461,480	10.2
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	17,413,660	17,312,204	101,456	0.6

別表10 水道料金未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	水道料金未収金				不納欠損			
	令和4年度		令和3年度		令和4年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和4年度	27,014	109,202,782			0	0		
令和3年度	1,774	7,361,792	26,410	108,518,629	0	0	5	38,936
令和2年度	1,050	4,279,147	1,209	5,404,706	8	28,210	12	89,722
令和元年度	905	3,690,393	944	3,823,692	5	12,510	12	57,409
平成30年度	822	4,170,857	855	4,286,558	4	16,381	2	5,093
平成29年度	722	2,617,042	765	2,816,144	4	17,857	4	123,552
平成28年度	668	2,654,611	716	2,908,286	2	8,683	11	36,262
平成27年度	682	2,820,531	695	2,870,406	10	39,291	9	20,175
平成26年度	710	2,928,046	731	3,022,399	0	0	8	7,149
平成25年度	746	2,975,108	766	3,050,481	0	0	3	2,940
平成24年度	1,055	4,086,609	1,102	4,259,816	0	0	0	0
平成23年度	1,062	3,836,425	1,105	3,996,511	0	0	0	0
平成22年度	1,415	5,088,972	1,488	5,333,714	24	90,350	0	0
平成21年度	1,252	4,413,525	1,317	4,624,393	24	87,790	0	0
平成20年度	893	3,095,055	967	3,291,513	24	89,050	0	0
平成19年度	667	2,747,402	712	2,850,139	2	5,897	0	0
平成18年度	653	2,370,100	675	2,413,699	0	0	0	0
平成17年度	443	1,816,290	458	1,870,592	0	0	0	0
平成16年度	334	1,367,765	359	1,430,480	0	0	0	0
平成15年度	460	2,344,972	515	2,550,335	10	44,860	0	0
平成14年度	431	1,960,554	460	2,109,160	11	46,115	0	0
平成13年度	377	1,396,319	393	1,454,465	0	0	0	0
平成12年度	268	1,048,087	268	1,048,087	0	0	0	0
平成11年度	212	842,329	219	862,030	0	0	0	0
平成10年度	138	616,363	153	633,992	0	0	0	0
平成9年度	151	637,005	167	691,696	0	0	0	0
平成8年度	106	470,655	114	509,565	0	0	0	0
平成7年度	71	365,940	71	365,940	0	0	0	0
平成6年度	55	179,946	55	179,946	0	0	0	0
平成5年度	28	146,300	28	146,300	0	0	0	0
合計	45,164	181,530,922	43,717	177,323,674	128	486,994	66	381,238

京丹後市下水道事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 11 のとおりである。

事業の実績を前年度と比べると、処理区域内人口は 39,622 人で 63 人 (0.2%)、水洗化人口は 28,392 人で 203 人 (0.7%) それぞれ増加している。

排水処理水量については 3,276,505 m³で、前年度と比べて 9,087 m³ (0.3%) の増加となっている。

新規接続件数の状況は、次のとおりである。

(単位：件)

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
新規接続件数	320	343	305
公共下水道	208	210	178
特定環境保全公共下水道	46	52	54
農業集落排水処理施設	15	20	13
漁業集落排水処理施設	0	0	0
浄化槽整備	51	61	60

新規接続件数は 320 件で、前年度と比較して 23 件の減少であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、未接続世帯への接続推進が進まなかったことなどが要因であると考えられ、微減となった。排水処理水量については、水洗化人口の増加と合わせて、前年度にくらべ微増となった。

2 予算執行状況 (税込)

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、別表 12 のとおりである。

収益的収入である下水道事業収益は、予算額 22 億 8,285 万 8 千円に対して決算額 22 億 9,799 万 2 千円で、収入率は 100.6%となっている。これは、消費税及び地方消費税還付金が 1,063 万円予算額を上回ったことなどによるものである。

収益的支出である下水道事業費用は、予算額 25 億 7,645 万 1 千円に対して決算額 24 億 4,624 万 2 千円で、執行率は 94.9%である。不用額の主なものは、営業費用で管渠費 1,227 万 2 千円、処理場費 4,911 万 3 千円、浄化槽費 2,417 万 3 千円など、営業外費用では支払利息及び企業債取扱諸費 844 万 7 千円である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、別表 13 のとおりである。

資本的収入は、予算額 33 億 555 万 6 千円に対して決算額 23 億 5,908 万 2 千円で、収入率は 71.3%である。主な要因は、予算額に対して企業債が 7 億 5,880 万円、補助金が 1 億 9,264 万 4 円下回ったことによるものである。

資本的支出は、予算額 39 億 552 万 4 千円に対して決算額 29 億 5,271 万 5 千円で、7 億 5,060 万円を翌年度に繰り越し、執行率は 75.6%となった。主な不用額は、管渠整備事業費 1 億 2,828 万 8 千円、管渠改良事業費 2,188 万 5 千円、浄化槽整備事業費 2,900 万 6 千円である。翌年度繰越分の内訳は、管渠整備事業費、管渠改良事業費、処理場改良事業費である。

施設整備の状況については、快適な生活環境及び公共用水域の水質を保全するため、管渠及び浄化槽の整備事業を行い、また、下水道施設の長寿命化のための改良事業などが計画的に実施されている。引き続き早期の概成を目指して、的確な財務分析による計画的かつ効率的な事業推進を期待するものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 5 億 9,363 万 3 千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 7,877 万 9 千円、引継金等 715 万 9 千円、過年度分損益勘定留保資金 3 億 881 万 9 千円、当年度分損益勘定留保資金 1 億 9,887 万 6 千円で補てんしている。

3 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、別表 14 のとおりである。

総収益 21 億 5,718 万 6 千円に対して総費用は 23 億 8,488 万 2 千円で、差し引き 2 億 2,769 万 6 千円の純損失となっており、当年度未処理欠損金は 28 億 9,692 万 6 千円となった（別表 19 参照）。

総収益の主なものは、営業収益の下水道使用料が 5 億 1,755 万 9 千円、営業外収益の他会計補助金が 8 億 9,750 万円、長期前受金戻入が 7 億 3,982 万 5 千円であった。

総費用の主なものは、営業費用の処理場費が 3 億 7,161 万 1 千円、浄化槽費が 1 億 3,694 万 3 千円、減価償却費が 13 億 3,845 万 3 千円、営業外費用では企業債支払利息が 3 億 1,491 万 2 千円であった。今後もインフラの整備が進み、多額の設備整備に伴う施設の管理費用などが必要になる。

有収水量 1 m³当たりの使用料単価は 146 円で対前年度比 0 円 20 銭、処理原価は 243 円 90 銭で対前年度比 20 円 50 銭とどちらも増加した。その結果、有収水量 1 m³当たりの赤字額は 97 円 90 銭となった（別表 11 参照）。

また、総収支比率は、別表 15 のとおり 90.5%、経常収支比率も 90.5%となった。

4 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、別表 16～19 のとおりである。

資産の総額は 410 億 577 万 6 千円で、前年度に比べて 1 億 762 万 2 千円（0.3%）の減少である。固定資産は前年度に比べて 4,015 万 6 千円の減少で、その内訳は構築物が 1 億 7,618 万 5 千円の増加、機械及び装置が 1 億 4,059 万 3 千円、建物が 7,601 万 1 千円の減少などである。流動資産は前年度に比べて 6,746 万 6 千円の減少で、その内訳は現金預金が 5,042 万 6 千円、前払金が 1,587 万 2 千円の減少などである。

下水道使用料及び受益者分担金の未収金の状況は、別表 20、別表 21 のとおりである。下水道使用料の未収金総額は 15,572 件、6,140 万 1 千円で、前年度と比べて件数は 739 件、金額は 199 万 1 千円増加した。受益者分担金については 102 件、372 万 5 千円で、前年度に比べて件数は 43 件、金額は 221 万 9 千円減少している。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、下水道使用料は 161 件、49 万円、受益者分担金については 27 件、57 万 2 千円の不納欠損を処理した。

負債の総額は 412 億 345 万 1 千円で、前年度に比べて 3 億 8,242 万 7 千円（0.9%）の減少である。固定負債は前年度に比べて 1 億 2,965 万 4 千円の減少であり、その内訳は企業債のみである。流動負債は前年度に比べて 5,163 万円の減少であり、その内訳は、企業債が 3,596 万 6 千円の増加した一方、減少は一時借入金 1,860 万円、未払金が 5,925 万 1 千円などである。

資本の総額はマイナス 1 億 9,767 万 6 千円で、自己資本金が 17 億 4,619 万 3 千円に対し、資本余剰金は 9 億 5,305 万 7 千円、利益剰余金は 28 億 9,692 万 6 千円の赤字決算である。

企業債の状況は、次のとおりである。

（決算書 P35, P42 参照）

（単位：千円）

令和 3 年度 末残高	令和 4 年度		令和 4 年度 末残高	令和 4 年度 支払利息
	発行額	償還額		
23,637,839	1,402,200	1,514,488	23,525,551	314,901

企業債残高は 235 億 2,555 万 1 千円で、前年度に比べ 1 億 1,228 万 8 千円（0.48%）の減少となっている。企業債利息は 3 億 1,490 万 1 千円で、営業収益（税抜）5 億 1,784 万 4 千円に占める割合は 60.8%と、昨年度に比べて 4.5 ポイント減少したが、非常に大きな割合となっている。

5 むすび

下水道事業会計の経営成績（税抜き）は、事業収益 21 億 5,718 万 6 千円に対して事業費用は 23 億 8,488 万 2 千円、差し引き 2 億 2,769 万 6 千円の当年度純損失となった。下水道事業は現在もインフラの整備中であり、基本となる収益の下水道使用料のみでは費用が賄えない状況である。

収益面では、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により下水道普及推進活動が制限される中、感染防止対策を行いながら、できる範囲での普及活動を行ったが、昨年と比べて接続率が伸びなかった。今後も下水道使用料の安定した確保を目指し、新規接続の推進を図ることが求められる。

費用面では、処理区域の拡大に伴う管渠等の整備工事など、今後も多額の設備投資が必要であり、経営状況はますます厳しいものとなることが予測される。また、効率的な汚水処理のため、施設の統廃合等が検討され、効率的な事業運営と管理体制が構築されることを期待する。

令和 4 年度末の未収金は、下水道使用料については 6,140 万 1 千円、受益者分担金については 372 万 5 千円であった。未収金対策として、水道料金と同時に督促状、催告書の発送や分納などを実施した。また、徴収の見込めない不良債権について京丹後市債権の管理に関する条例に基づき不納欠損を処理するなど、滞納整理をされている。利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも適正な債権の管理は極めて重要であり、今後も引き続き滞納者に対する継続的な働きかけや給水停止等の措置を行うなど、回収に向けた積極的な対応を求めるものである。また、新たな未納者の発生を防ぐため初期の徴収体制を強化するなど、収納率向上のための対策を講じる必要がある。

下水道事業は、快適な市民生活環境や公共用水域の水質保全に不可欠なものである。早期の概成を目指し、経営基盤の確立や効率的かつ合理的な事業運営に一層努められるよう期待するものである。

決算審査資料（下水道事業会計）

別表11	下水道事業の概要	26
別表12	収益的収支予算決算比較（税込）	27
別表13	資本的収支予算決算比較（税込）	28
別表14	損益計算書（税抜）	29
別表15	経営の安定度に関する指標	30
別表16	資産	31
別表17	負債	31
別表18	資本金	32
別表19	剰余金	32
別表20	下水道使用料未収金及び不納欠損額（税込）	33
別表21	受益者分担金未収金及び不納欠損額（税込）	33

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表11

下水道事業の概要

項目	年度	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年比	
				増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
行政区域内人口(人)		51,537	52,451	△914	△1.7%
処理区域内人口(人)		39,622	39,559	63	0.2%
普及率(%)		76.9%	75.4%	1.5%	—
水洗化人口(人)		28,392	28,189	203	0.7%
接続率(%)		71.7%	71.3%	0.4%	—
排水処理水量(m ³)		3,276,505	3,267,418	9,087	0.3%
使用料単価		146円00銭	145円80銭	0円20銭	—
処理原価		243円90銭	223円40銭	20円50銭	—
施設利用率(%)		39.7	39.5	0.2	—
有収率(%)		108.2	105.9	2.3%	—

- 行政区域内人口 年度末現在における住民基本台帳に登録された人口
- 処理区域内人口 下水道が整備され処理可能な区域の人口（個人等管理浄化槽人口を除く）
- 普及率 $\text{処理区域内人口} / \text{行政区域内人口} \times 100$
行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合を表す指標
- 水洗化人口 下水道処理区域内において下水道に接続し、使用している人口
個人等管理浄化槽人口を除く
- 接続率 $\text{水洗化人口} / \text{行政区域内人口} \times 100$
- 使用料単価 $\text{下水道使用料} / \text{年間総有収水量}$
有収水量1mあたり、どれだけの収益を得ているかを表す指標
- 処理原価 $\text{経常費用} / \text{年間総汚水処理量}$
有収水量1mあたり、どれだけの費用がかかっているかを表す指標
- 施設利用率 $\text{晴天時1日平均処理水量} / \text{晴天時現在処理能力} \times 100$
施設の1日平均の利用状況を表す指標
- 有収率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合を示す指標

別表12 下水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

(1) 収入

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
下水道事業収益	2,282,858	2,297,992	15,134	100.6
営業収益	569,998	569,600	△ 398	99.9
下水道使用料	569,710	569,315	△ 395	99.9
その他営業収益	288	285	△ 3	98.9
営業外収益	1,712,860	1,728,392	15,532	100.9
受取利息及び配当金	3	12	9	400.0
補助金	925	925	0	100.0
他会計補助金	897,500	897,500	0	100.0
長期前受金戻入	735,155	739,825	4,670	100.6
雑収益	907	1,130	223	124.5
消費税及び地方消費税還付金	78,370	89,000	10,630	113.5

(2) 支出

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	不用額 ①-②	執行率 ②/①
下水道事業費用	2,576,451	2,446,242	130,209	94.9
営業費用	2,226,730	2,124,696	102,034	95.4
管渠費	119,406	107,134	12,272	89.7
ポンプ場費	45,859	42,392	3,467	92.4
処理場費	454,909	405,796	49,113	89.2
浄化槽費	173,061	148,888	24,173	86.0
水洗化普及費	6,659	5,582	1,077	83.8
業務費	20,598	18,811	1,787	91.3
総係費	49,577	44,397	5,180	89.5
減価償却費	1,340,667	1,338,453	2,214	99.8
資産減耗費	15,994	13,243	2,751	82.7
営業外費用	332,721	321,546	11,175	96.6
支払利息及び企業債取扱諸費	323,359	314,912	8,447	97.3
雑支出	9,362	6,634	2,728	70.8
予備費	17,000	0	17,000	0.0
予備費	17,000	0	17,000	0.0

別表13 下水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

（1）収入

（単位：千円、％）

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
資本の収入	3,305,556	(A) 2,359,082	△ 946,474	71.3
負担金	94,108	99,078	4,970	105.2
受益者負担金	94,108	99,078	4,970	105.2
企業債	2,034,500	1,275,700	△ 758,800	62.7
企業債	2,034,500	1,275,700	△ 758,800	62.7
補助金	674,448	481,804	△ 192,644	71.4
国庫補助金	670,970	478,326	△ 192,644	71.2
府補助金	3,478	3,478	0	100.0
出資金	502,500	502,500	0	100.0
他会計出資金	502,500	502,500	0	100.0

（2）支出

（単位：千円、％）

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本の支出	3,905,524	(B) 2,952,715	750,600	202,209	75.6
建設改良費	2,391,033	1,438,227	750,600	202,206	60.1
事務費	31,146	27,812		3,334	89.2
固定資産取得費	3,357	1,999		1,358	59.5
管渠整備事業費	1,978,091	1,240,303	609,500	128,288	62.7
管渠改良事業費	85,335	36,450	27,000	21,885	42.7
ポンプ場改良事業費	14,841	5,236		9,605	35.2
処理場改良事業費	144,167	21,337	114,100	8,730	14.8
浄化槽整備事業費	134,096	105,090		29,006	78.3
企業債償還金	1,514,491	1,514,488		3	99.9
企業債償還金	1,514,491	1,514,488		3	99.9

（3）資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

（単位：千円）

項目	金額	備考
資本の収支差引額	(A)- (B) △ 593,633	
補てん財源	593,633	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	78,779	
引継金	7,159	
過年度分損益勘定留保資金	308,819	
当年度分損益勘定留保資金	198,876	

別表 14 下水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

項目	年度	令和4年度 ①	令和3年度 ②	対前年比	
				金額③ (①-②)	比率③/②*100
下水道事業収益 (A)		2,157,186	2,248,803	△ 91,617	△ 4.1
営業収益 (C)		517,844	508,689	9,155	1.8
下水道使用料		517,559	508,338	9,221	1.8
その他営業収益		285	351	△ 66	△ 18.8
営業外収益		1,639,342	1,737,381	△ 98,039	△ 5.6
受取利息		11	5	6	120.0
府補助金		925	1,080	△ 155	△ 14.4
他会計補助金		897,500	951,586	△ 54,086	△ 5.7
長期前受金戻入		739,825	783,588	△ 43,763	△ 5.6
雑収益		1,081	1,122	△ 41	△ 3.7
特別利益		0	2,733	△ 2,733	△ 100.0
引当金戻入益		0	2,733	△ 2,733	△ 100.0
その他特別利益		0	0	0	—
下水道事業費用 (B)		2,384,882	2,387,707	△ 2,825	△ 0.1
営業費用		2,063,364	2,047,801	15,563	0.8
管渠費		98,134	85,446	12,688	14.8
ポンプ場費		38,546	33,028	5,518	16.7
処理場費		371,611	325,638	45,973	14.1
浄化槽費		136,943	128,268	8,675	6.8
水洗化普及費		5,517	5,796	△ 279	△ 4.8
業務費		17,101	15,607	1,494	9.6
総係費		43,815	22,811	21,004	92.1
減価償却費		1,338,453	1,429,415	△ 90,962	△ 6.4
資産減耗費		13,244	1,792	11,452	639.1
その他営業費用		0	0	0	—
営業外費用		321,518	339,906	△ 18,388	△ 5.4
支払利息 (D)		314,912	332,290	△ 17,378	△ 5.2
雑支出		6,606	7,616	△ 1,010	△ 13.3
特別損失		0	0	0	—
その他特別損失		0	0	0	—
当年度純損益 (A)-(B)		△ 227,696	△ 138,904	△ 88,792	—
総収支比率 (A)/(B)		90.5	94.2	△ 3.7	
支払利息/営業収益 (D)/(C)		60.8	65.3	△ 4.5	

別表 15 下水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：%)

年度 項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	備 考
総収支比率	90.5	94.2	99.2	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ <p>経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見ると指標。高い数値の方が好ましい。この率が100%未満であれば、純損失を生じている。</p>
公共下水道	90.6	94.1	92.8	
類似団体全国平均値	—	113.9	114.6	
特定環境保全公共下水道	89.3	92.7	104.5	
類似団体全国平均値	—	105.4	104.3	
農業集落排水処理施設	91.8	98.1	110.1	
類似団体全国平均値	—	116.1	114.9	
漁業集落排水処理施設	96.1	94.1	123.2	
類似団体全国平均値	—	107.4	119.1	
浄化槽整備	91.7	94.5	92.1	
類似団体全国平均値	—	108.6	107.7	
経常収支比率	90.5	94.1	99.5	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ <p>特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表す。</p>
公共下水道	90.6	94.0	92.6	
類似団体全国平均値	—	99.1	102.3	
特定環境保全公共下水道	89.3	92.4	105.2	
類似団体全国平均値	—	103.2	103.7	
農業集落排水処理施設	91.8	98.1	112.8	
類似団体全国平均値	—	95.5	96.1	
漁業集落排水処理施設	96.1	94.1	123.2	
類似団体全国平均値	—	80.2	92.1	
浄化槽整備	91.7	94.5	90.2	
類似団体全国平均値	—	97.0	95.9	
営業収支比率	27.1	24.8	24.0	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ <p>通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賅っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100%未満の場合は健全経営とはいえない。</p>
公共下水道	31.4	30.6	23.6	
特定環境保全公共下水道	23.2	22.4	22.3	
農業集落排水処理施設	31.0	30.9	31.9	
漁業集落排水処理施設	37.3	19.8	21.6	
浄化槽整備	20.7	21.5	21.0	

※ 5事業全てを実施している類似団体は無いため、各事業ごとに同じ区分の団体を掲載した。

別表 16

下水道事業資産

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土地	1,696,284	1,696,284	0	0.0
	建物	2,239,552	2,315,563	△ 76,011	△ 3.3
	構築物	32,311,034	32,134,849	176,185	0.5
	機械及び装置	3,990,329	4,130,922	△ 140,593	△ 3.4
	車両運搬具	1,010	170	840	494.1
	工具器具及び備品	5,317	5,894	△ 577	△ 9.8
	建設仮勘定	0	0	0	—
	小計	40,243,526	40,283,682	△ 40,156	△ 0.1
流動資産	現金預金	439,297	489,723	△ 50,426	△ 10.3
	未収金	158,574	159,080	△ 506	△ 0.3
	貸倒引当金	△ 3,309	△ 2,806	△ 503	17.9
	貯蔵品	2,730	2,889	△ 159	△ 5.5
	前払金	164,958	180,830	△ 15,872	△ 8.8
	その他流動資産	0	0	0	—
	小計	762,250	829,716	△ 67,466	△ 8.1
合計	41,005,776	41,113,398	△ 107,622	△ 0.3	

別表 17

下水道事業負債

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企業債	21,877,097	22,006,751	△ 129,654	△ 0.6
	引当金	0	0	0	—
	その他固定負債	0	0	0	—
	小計	21,877,097	22,006,751	△ 129,654	△ 0.6
流動負債	一時借入金	98,000	116,600	△ 18,600	△ 16.0
	企業債	1,550,454	1,514,488	35,966	2.4
	未払金	204,311	263,562	△ 59,251	△ 22.5
	前受金	59,153	64,216	△ 5,063	△ 7.9
	引当金	6,807	6,199	608	9.8
	その他流動負債	1,930	7,220	△ 5,290	△ 73.3
	小計	1,920,655	1,972,285	△ 51,630	△ 2.6
繰延収益	長期前受金	19,680,655	19,150,095	530,560	2.8
	収益化累計額	△ 2,274,956	△ 1,543,253	△ 731,703	47.4
	小計	17,405,699	17,606,842	△ 201,143	△ 1.1
合計 (ア)	41,203,451	41,585,878	△ 382,427	△ 0.9	

別表18 下水道事業資本金

(単位：千円、%)

年度 項目		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年比	
				金額(C)	(A-B) 比率(C/B*100)
自己資本金	自己資本金	1,746,193	1,243,693	502,500	40.4
借入資本金	企業債	—	—	—	—
合計 (イ)		1,746,193	1,243,693	502,500	40

別表19 下水道事業剰余金

(単位：千円、%)

年度 項目		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	対前年比	
				金額(C)	(A-B) 比率(C/B*100)
資本剰余金	再評価積立金	0	0	—	—
	受益者負担金	0	0	—	—
	補助金	687,811	687,811	0	0.0
	受贈財産評価額	265,246	265,246	0	0.0
	寄附金	0	0	—	—
	工事負担金	0	0	—	—
	小計	953,057	953,057	0	0.0
利益剰余金	減債積立金	0	0	—	—
	建設改良積立金	0	0	—	—
	当年度未処分利益剰余金	△ 2,896,926	△ 2,669,230	△ 227,696	8.5
	(うち当年度純利益)	(△ 227,696)	(△ 138,904)	(△ 88,792)	63.9
	小計	△ 2,896,926	△ 2,669,230	△ 227,696	8.5
合計 (ウ)		△ 1,943,869	△ 1,716,173	△ 227,696	13.3

資本合計 (イ)+(ウ)	△ 197,676	△ 472,480	274,804	△ 58.2
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	41,005,775	41,113,398	△ 107,623	△ 0.3

別表20 下水道使用料未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和4年度		令和3年度		令和4年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和4年度	12,790	49,323,283			0	0		
令和3年度	557	2,030,249	12,280	48,326,322	0	0	0	0
令和2年度	448	1,754,022	521	2,012,558	8	28,461	0	0
令和元年度	377	1,490,671	401	1,556,785	5	8,641	0	0
平成30年度	349	1,416,147	379	1,508,530	4	15,234	0	0
平成29年度	247	978,804	351	1,303,858	80	251,579	0	0
平成28年度	126	680,388	166	818,372	31	107,928	63	227,994
平成27年度	132	645,317	141	669,596	3	2,602	89	357,894
平成26年度	146	866,562	150	888,700	2	11,172	27	145,736
平成25年度	122	710,795	137	761,115	9	22,520	53	179,042
平成24年度	102	536,183	114	573,902	10	33,419	49	213,310
平成23年度	71	472,211	74	474,951	2	2,060	20	89,150
平成22年度	79	404,802	91	420,647	7	6,665	3	20,860
平成21年度	17	52,695	19	56,155	0	0	8	31,480
平成20年度	8	36,106	8	36,106	0	0	0	0
平成19年度	1	2,893	1	2,893	0	0	0	0
合 計	15,572	61,401,128	14,833	59,410,490	161	490,281	312	1,265,466

別表21 受益者分担金未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和4年度		令和3年度		令和4年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和4年度	22	1,578,000			0	0		
令和3年度	13	476,000	41	3,477,200	0	0	0	0
令和2年度	8	208,000	15	362,000	0	0	0	0
令和元年度	3	78,000	6	148,000	0	0	0	0
平成30年度	4	104,000	4	104,000	0	0	0	0
平成29年度	4	104,000	4	104,000	0	0	0	0
平成28年度	1	17,469	1	17,469	0	0	0	0
平成27年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年度	1	90,000	1	90,000	0	0	0	0
平成25年度	1	90,000	1	90,000	0	0	0	0
平成24年度	1	28,788	1	28,788	0	0	0	0
平成23年度	1	65,000	1	65,000	0	0	0	0
平成22年度	1	22,000	1	22,000	0	0	0	0
平成21年度	4	88,000	4	88,000	0	0	0	0
平成20年度	1	22,000	1	22,000	0	0	1	51,804
平成19年度	4	82,000	5	104,000	1	22,000	0	0
平成18年度	16	352,000	28	616,000	12	264,000	0	0
平成17年度	13	251,400	25	515,400	12	264,000	0	0
平成16年度	4	68,000	6	90,200	2	22,200	0	0
合 計	102	3,724,657	145	5,944,057	27	572,200	1	51,804

京丹後市病院事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 22 のとおりである。

一般病床と療養病床を合わせた入院患者数は、弥栄病院が延 40,034 人（1 日平均 109.7 人）、久美浜病院が延 44,078 人（同 120.8 人）で、前年度に比べて弥栄病院が 803 人（同 27.3 人）の減少、久美浜病院が 4,418 人（同 12.1 人）の減少となった。

外来患者数は、弥栄病院が延 94,337 人（1 日平均 388.2 人）、久美浜病院が延 77,285 人（同 318.0 人）となり、前年度に比べて弥栄病院は 44 人、久美浜病院は 3,732 人の増加となった。

病床利用率は、弥栄病院は、前年度に比べて 1.1 ポイント増加し 67.7%に、久美浜病院は 7.3 ポイント減少し 72.3%の結果となった。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の対応のため、入院患者の受け入れ体制に大きな影響があった。弥栄病院では、令和 3 年度に引き続いて療養病床全てをコロナ患者受入病床（一般病床化）とした。そのうち、コロナ患者受入病床を 12 床、休床を 37 床としたため、実稼働病床は 162 床となった。久美浜病院では、一般病床のうち 1 床をコロナ疑似症患者受入病床、休床を 3 床としたため、実稼働病床は 107 床となった。

(1) 入院患者の状況

入院患者の状況は、別表 23、別表 26 及び別表 27 のとおりである。

一般病床においては、弥栄病院では患者数が外科、整形外科などで減少したものの、内科、総合診療科で増加し、延患者数は 40,034 人と、前年度に比べて 995 人の増加となった。また、久美浜病院では内科、小児科、歯科・歯科口腔外科などで患者数が減少した。特に内科は 2,769 人の減少となり、延患者数は 27,857 人で、前年度に比べて 3,563 人の減少となった。

療養病床においては、久美浜病院で 16,221 人と前年度に比べて 855 人の減少となった。

施設の利用状況を表す病床利用率は、別表 29 のとおりである。

弥栄病院の一般病床の利用率は 67.7%で、前年度に比べて 0.9 ポイント増加した。久美浜病院の一般病床の利用率は 71.3%で、前年度に比べて 9.2 ポイント減少し、療養病床では 74.1%と 3.9 ポイント減少した。

(2) 外来患者の状況

外来患者の状況は、別表 23 及び別表 28 のとおりである。

弥栄病院では、整形外科、産婦人科、眼科などで患者数が減少したが、内科などで増加したことにより、延患者数は 94,337 人と、前年度に比べ 44 人の増加となった。

久美浜病院では、内科、小児科などで患者数が増加し、延患者数は 77,285 人と、前年度に比べ 3,732 人の増加となった。

(3) 訪問看護事業の状況

訪問看護事業の状況は、別表 24 のとおりである。

弥栄病院では、訪問実人数は 3,154 人で前年度に比べ 155 人の減少、訪問延人数は 13,120 人で前年度に比べ 305 人の減少となった。久美浜病院では、訪問実人数は 1,785 人で前年度に比べ 30 人の減少となったが、訪問延人数は 9,124 人で前年度に比べ 200 人の増加となった。

(4) 通所リハビリテーション事業の状況

通所リハビリテーション事業の状況は、別表 25 のとおりである。

平成 19 年度から久美浜病院で実施されている事業であり、通所実人数は 415 人で前年度に比べ 47 人の減少となった。また、通所延人数は 3,613 人と 263 人の減少となった。

2 予算執行状況（税込）

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の執行状況は、別表 32、別表 33 のとおりである。

収益的収入である病院事業収益は、73 億 5,680 万 9 千円であった。

弥栄病院事業収益は、前年度に比べて 2 億 9,471 万 8 千円減少しており、その内訳は医業収益が 3 億 7,234 万 7 千円の減少、医業外収益が 6,708 万 9 千円の増加などである。久美浜病院事業収益は、前年度に比べて 1 億 2,927 万 1 千円増加しており、その内訳は医業外収益が 5,290 万 5 千円、特別利益が 6,137 万 6 千円の増加などである。

収益的支出である病院事業費用は、76 億 6,275 万 5 千円であった。不用額は総額 3 億 3,489 万 9 千円となっている。

弥栄病院事業費用は、前年度に比べて 1 億 3,623 万 7 千円減少しており、その内訳は、医業費用が 3 億 5,738 万 2 千円の減少、特別損失が 2 億 1,605 万 3 千円の増加などである。弥栄病院は 6 月から薬の処方を経外処方へ移行しており、その影響で医業費用が大きく減少したことが挙げられる。久美浜病院事業費用は、前年度に比べて 2 億 8,806 万 2 千円増加しており、主に医業費用が 7,287 万 7 千円、特別損失が 2 億 2,270 万 7 千円増加していることによるものである。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の執行状況は、別表 33 のとおりである。

資本的収入は 8 億 6,705 万円、資本的支出は 11 億 4,354 万 1 千円であった。

改良工事に関しては8,929万4千円（弥栄病院8,302万4千円、久美浜病院627万円）支出し、器械及び備品整備については4億5,978万9千円（弥栄病院1億5,129万2千円、久美浜病院3億849万7千円）を支出した。医師の確保など診療の充実を目指した投資のほか、久美浜病院では電子カルテシステムの導入を行っている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億7,649万1千円は、損益勘定留保資金等で補てんしている。

3 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、別表34のとおりである。

総収益73億3,057万1千円に対して総費用76億4,223万7千円で、差し引き3億1,166万6千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金33億8,066万円を加え、当年度未処理欠損金（累積欠損金）は、36億9,232万6千円となっている。

病院別の状況については、弥栄病院の総収益は42億4,158万8千円、総費用は44億542万8千円で、差し引き1億6,384万円の純損失となり、当年度未処理欠損金は、20億1,192万7千円となっている。医業収益は32億3,268万8千円で、前年度に比べて3億6,861万円減少、医業費用は38億9,762万3千円と、前年度に比べて3億1,061万4千円減少し、医業損失は6億6,493万5千円で前年度と比べ5,799万6千円の増加となり、悪化している。

次に、久美浜病院の総収益は30億8,898万3千円、総費用は32億3,680万9千円で、差し引き1億4,782万6千円の純損失となり、当年度未処理欠損金は16億8,039万9千円となっている。医業収益は24億6,765万2千円で、前年度に比べて1,806万2千円の増加となった。医業費用は28億231万7千円と、前年度に比べて6,794万5千円増加しており、医業損失は3億3,466万5千円で前年度と比べ4,988万3千円の増加となり、こちらも悪化している。

医業における経営状態を示す比率は、別表31のとおりである。

経常収支比率は、収益と費用を対比して経営活動の成果を示すものであり、比率が大きいほど良好であるが、前年度に比べて0.5ポイントの増加（弥栄病院0.7ポイントの増加、久美浜病院0.1ポイントの増加）となった。

医業収益対医業費用比率は、医業費用に対する医業収益の比率を示すものであり、100%未満は医業収支が赤字であることになる。前年度に比べて2.2ポイントの減少（弥栄病院2.7ポイントの減少、久美浜病院1.6ポイントの減少）となった。

4 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、別表 35～38 のとおりである。

資産の総額は 93 億 9,252 万 8 千円で、前年度に比べて 1 億 7,407 万 6 千円増加している。

固定資産は、総額では 5,624 万 7 千円の減少で、主な内訳として、建物が 2 億 564 万 1 千円の減少、器械及び備品が 1 億 6,773 万 4 千円の増加であった。

流動資産である個人が窓口で支払うべき診療費の未収金の状況は、次のとおりである。

3 月 31 日現在

(単位：千円)

区 分	令和 4 年度			令和 3 年度		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
未 収 金	58,040	36,246	21,794	56,123	36,251	19,872
不納欠損	0	0	0	335	335	0

未収金の総額は 5,804 万円で、前年度に比べて 191 万 7 千円増加（弥栄病院は 5 千円の減少、久美浜病院は 192 万 2 千円の増加）している。

負債の総額は 92 億 2,636 万 1 千円で、前年度に比べて 4 億 5,940 万 7 千円増加している。固定負債は減少しており、その内訳は企業債 8,103 万 4 千円などによるものである。一方、流動負債は増加しており、一時借入金が 1 億 1 千万円、企業債が 2,450 万 9 千円減少したのに対し、未払金が 1 億 6,199 万 5 千円増加したことなどによるものである。

資本の総額は 1 億 6,616 万 7 千円で、前年度に比べて 2 億 8,533 万 1 千円減少している。

企業債の状況は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	令和 3 年度 未残高	令和 4 年度		令和 4 年度 未残高	令和 4 年度 支払利息
		発行額	償還額		
弥栄病院	5,720,584	190,200	282,420	5,628,364	33,388
久美浜病院	1,088,389	270,500	283,823	1,075,066	14,748
合 計	6,808,973	460,700	566,243	6,703,430	48,136

企業債残高は、67 億 343 万円で、前年度に比べて 1 億 554 万 3 千円減少している。

病院別の状況については、弥栄病院では、企業債残高は 56 億 2,836 万 4 千円で、前年度に比べて 9,222 万円減少している。企業債利息は 3,338 万 8 千円で、医業収益 32 億 3,268 万 8 千円に占める割合は 1.0%（前年度 1.0%）と横ばいである。

次に、久美浜病院では、企業債残高は 10 億 7,506 万 6 千円で、前年度に比べて 1,332 万 3 千円減少している。企業債利息は 1,474 万 8 千円で、医業収益 24 億 6,765 万 2 千円に占める割合は 0.6%（前年度 0.9%）と減少している。

5 むすび

令和 4 年度は、前年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症の影響を非常に大きく受けた年であった。弥栄病院では前年度に引き続き、新型コロナ専用の病床の確保を行いながら医療提供体制の確保に取り組んできた。久美浜病院では、新型コロナウイルスワクチンの院内接種のほか、休日接種のための医師派遣など取り組んできたが、7 月以降に職員や入院患者の感染が確認され、診療制限を行わざるを得ないこともあった。

新たな取り組みとして、弥栄病院では 6 月に薬の処方を院外処方に移行し、経費削減と薬剤師の負担軽減を図った。その影響もあって、外来の診療収入が大きく減少した。久美浜病院では電子カルテシステムを導入し、医療情報の共有化、受付やカルテ記載等の業務の効率化を図った。

病院の医師体制について、弥栄病院では、常勤の内科医師が 1 名増え、内科医師体制の強化を図ることができた。また、外来診療においても多方面で医師の派遣を受けることができ、患者需要に応えることができた。久美浜病院では、前年度に増員となった内科医師が 2 名減員となったが、短期の研修医を受け入れることができ、内科診療や救急、時間外診療へ対応することができた。

両病院とも、医師体制が充実しているとは言えない中、医師不足の解消に向けて精力的に招へい活動をするなどの努力もあって、関係機関からの医師の派遣を受けるなどして、患者需要に応えていただいた。しかしながら、依然として医師の獲得につながりにくい状況にあり、引き続き多方面からの招へい活動に尽力されたい。

経常収支について、弥栄病院、久美浜病院共に、昨年度は収益増加につながる取組を工夫し実施したことにより黒字決算となったが、再び赤字決算となった。

収益面を見ると、弥栄病院では院外処方へ移行した関係で外来収益の減少が多であった。久美浜病院では入院収益は減少したが、外来収益など全体的に収益が伸びた結果となった。

費用面を見ると、弥栄病院では経費削減が図られたが、これは院外処方への移行による影響が大きな要因である。また、両病院とも給与費、経費などが増加している。

平成 30 年度から 4 年連続でマイナスとなっていた資金不足比率はプラスに転じ、数字的には健全である状態となっているが、決して健全な経営状態であるとは言えない状況である。特に病院の本業である医業損失の改善が必要であり、そのためには安定的に入院収入を確保することが肝要であり、診療科ごとの患者数、診療収入など

に注目し、患者のニーズに応えられるよう常勤医師の拡充や各部門の連携を図ることによって、医療体制を強化する必要がある。

個人が窓口で支払うべき診療費の未収金については、前年度に比べ増加している。電話及び文書による督促や訪問徴収に加え、弁護士法人への回収業務の委託やクレジットカードによる支払を導入しているが、依然、多額の未収金があることから、先進事例も参考にしながら徴収に努められたい。また、令和4年度は不能欠損処理を行っていないが、回収見込みのない債権は適正に不納欠損処理をするべきである。負担の公平性、経営の健全化を推し進める観点から、診療費の滞納整理については、今後関係部局等と連携して積極的な対応を求めるものである。また、未収金の増加を防ぐために、特に現年度の未収金回収を早期に着手するなど、債権の適正な管理と徴収に努められたい。

市立診療所も含めた市全体の医療体制については、将来にわたって地域医療、救急医療、産科・小児科医療、在宅医療、リハビリ等、幅広く必要な医療を提供し、公的医療施設に求められる役割が十分に果たせるよう、経営改善への具体的な方策をもって持続可能な運営に努める必要がある。病院施設及び設備についても長期的な展望に立って計画的に整備し、患者サービスと医療の質の向上のため、有効に活用されたい。

医療を取り巻く環境の変化や多様化する患者のニーズを的確に把握し、今後も、全職員が経営感覚を常に念頭に置きながら、各病院の特色を生かして医療サービスの向上と経営改善に取り組まれたい。そして、市民に信頼され、地域に密着した良質で必要とされる医療等のサービスを提供し続けるためにも、中長期的な目線で安定的な経営基盤が確立されるよう強く望むものである。

病院事業会計 決算審査資料

別表22	病院事業の概要	44
別表23	入院患者・外来患者の状況	45
別表24	訪問看護の状況	45
別表25	通所リハビリテーションの状況	45
別表26	診療科目別入院患者の状況（一般病床）	46
別表27	診療科目別入院患者の状況（療養病床）	47
別表28	診療科目別外来患者の状況	48
別表29	病床利用率	49
別表30	患者1人1日当たり診療収入	49
別表31	収支比率	49
別表32	収益的収支（税込）	50
別表33	資本的収支（税込）	51
別表34	損益計算書（税抜）	52
別表35	資産	54
別表36	負債	54
別表37	資本金	55
別表38	剰余金	55

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表 22

病院事業の概要

項目			単位	弥栄病院			久美浜病院			
				令和4年度	令和3年度	対前年比	令和4年度	令和3年度	対前年比	
医	病床数 ※1	床	199	199	0	170	170	0		
		年間延	床	59,130	61,350	△ 2,220	60,955	60,955	0	
	患者数	入院	年間延	人	40,034	40,837	△ 803	44,078	48,496	△ 4,418
			1日平均	人	109.7	137.0	△ 27.3	120.8	132.9	△ 12.1
		外来	年間延	人	94,337	94,293	44	77,285	73,553	3,732
			1日平均	人	388.2	389.6	△ 1.4	318.0	303.9	14.1
	病床利用率		%	67.7	66.6	1.1	72.3	79.6	△ 7.3	
	外来診療実日数		日	243	242	1	243	242	1	
	医業費用(税抜)		千円	3,897,623	4,208,237	△ 310,614	2,802,317	2,734,372	67,945	
	医業収益(税抜)		千円	3,232,688	3,601,298	△ 368,610	2,467,652	2,449,590	18,062	
業	入院 外来 収益 (税抜)	入 総額	千円	1,782,865	1,697,641	85,224	1,394,880	1,489,502	△ 94,622	
		院 1人1日 平均	円	44,534	41,571	2,963	31,646	30,714	932	
	外 総額	来	千円	1,032,138	1,452,914	△ 420,776	815,081	670,714	144,367	
		来 1人1日 平均	円	10,941	15,409	△ 4,468	10,546	9,119	1,427	
訪問看護事業 (事業日数は外来診療実日数に 同じ)	訪問実人数		人	3,154	3,309	△ 155	1,785	1,815	△ 30	
	訪問延人数		人	13,120	13,425	△ 305	9,124	8,924	200	
	1日平均 訪問患者数		人	54.0	55.5	△ 1.5	37.5	36.9	0.6	
通所リハビリテーション 事業(事業日数は弥栄病院は 243日、久美浜病院は 242日)	通所実人数		人	/	/	/	415	462	△ 47	
	通所延人数		人	/	/	/	3,613	3,876	△ 263	
	1日平均 通所患者数		人	/	/	/	14.9	16.0	△ 1.1	
職員数 (年度末 現在)	医師		人	16	16	0	21	23	△ 2	
	看護師 ※2		人	170	170	0	163	160	3	
	その他		人	106	108	△ 2	103	99	4	
	計		人	292	294	△ 2	287	282	5	

※1 弥栄病院は、一般病床199床のうち、コロナ患者受入病床12床、休床37床。実稼働病床162床。
久美浜病院は、一般病床110床のうち、休床3床。実稼働病床107床、療養病床62床。

※2 職員数の看護師には助産師・准看護師・介護福祉士・看護助手・介護助手を含む

別表23 入院患者・外来患者の状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	令和4年度		令和3年度		対前年比	
			延患者数 (A)	1日平均 患者数	延患者数 (B)	1日平均 患者数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
入 院	一般病床 (309床) 合計		67,891	186.0	70,459	193.1	△ 2,568	△ 3.6
	弥栄病院 (199床) ※1		40,034	109.7	39,039	107.0	995	2.5
	久美浜病院 (110床) ※2		27,857	76.3	31,420	86.1	△ 3,563	△ 11.3
	療養病床 (60床) 合計		16,221	44.4	18,874	76.8	△ 2,653	△ 14.1
	弥栄病院 (0床)		0	0.0	1,798	30.0	△ 1,798	△ 100.0
	久美浜病院 (60床)		16,221	44.4	17,076	46.8	△ 855	△ 5.0
外 来	合計		171,622	706.2	167,846	693.5	3,776	2.2
	弥栄病院 診療実日数 (243日)		94,337	388.2	94,293	389.6	44	0.0
	久美浜病院 診療実日数 (243日)		77,285	318.0	73,553	303.9	3,732	5.1

※1 弥栄病院の病床数は、一般病床162床（一般病床199床中、休床37床）。

※2 久美浜病院の病床数は、一般病床107床（一般病床110床中、休床3床）。

別表24 訪問看護の状況

(単位：人)

区 分		年 度	令和4年度			令和3年度			対前年比	
			訪 問 実人数 (A)	訪 問 延人数 (B)	1日平均 訪 問 患者数	訪 問 実人数 (C)	訪 問 延人数 (D)	1日平均 訪 問 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合計			4,939	22,244	91.5	5,124	22,349	92.4	△ 185	△ 105
弥栄病院			3,154	13,120	54.0	3,309	13,425	55.5	△ 155	△ 305
久美浜病院			1,785	9,124	37.5	1,815	8,924	36.9	△ 30	200

別表25 通所リハビリテーションの状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	令和4年度			令和3年度			対前年比	
			通 所 実人数 (A)	通 所 延人数 (B)	1日平均 通 所 患者数	通 所 実人数 (C)	通 所 延人数 (D)	1日平均 通 所 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合計			415	3,613	14.9	462	3,876	16.0	△ 47	△ 263
弥栄病院										
久美浜病院			415	3,613	14.9	462	3,876	16.0	△ 47	△ 263

別表 26 診療科目別入院患者の状況（一般病床）

診療科	年度	令和4年度			令和3年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥栄病院									
199 床 ※1	内科	20,885	57.2	52.2	19,168	52.5	49.1	1,717	4.7
	外科	1,207	3.3	3.0	2,119	5.8	5.4	△ 912	△ 2.5
	整形外科	8,049	22.1	20.1	9,165	25.1	23.5	△ 1,116	△ 3.0
	産婦人科	1,567	4.3	3.9	1,833	5.0	4.7	△ 266	△ 0.7
	小児科	399	1.1	1.0	514	1.4	1.3	△ 115	△ 0.3
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	1,797	4.9	4.5	1,539	4.2	3.9	258	0.7
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	3,446	9.4	8.6	3,324	9.2	8.6	122	0.2
	リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	2,684	7.4	6.7	1,377	3.8	3.5	1,307	3.6
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小計	40,034	109.7	100.0	39,039	107.0	100.0	995	2.7	
久美浜病院									
110 床 ※2	内科	14,085	38.6	50.6	16,854	46.3	53.7	△ 2,769	△ 7.7
	外科	4,041	11.1	14.5	4,210	11.5	13.4	△ 169	△ 0.4
	整形外科	5,792	15.9	20.8	4,981	13.6	15.9	811	2.3
	小児科	372	1.0	1.3	1,103	3.0	3.5	△ 731	△ 2.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	124	0.3	0.4	325	0.9	1.0	△ 201	△ 0.6
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	1,166	3.2	4.2	887	2.4	2.8	279	0.8
	歯科・歯科 口腔外科	2,277	6.2	8.2	3,060	8.4	9.7	△ 783	△ 2.2
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小計	27,857	76.3	100.0	31,420	86.1	100.0	△ 3,563	△ 9.8
合計	67,891	186.0		70,459	193.1		△ 2,568	△ 7.1	

※1 弥栄病院の病床数は、一般病床162床（一般病床199床中、休床37床）。

※2 久美浜病院の病床数は、一般病床107床（一般病床110床中、休床3床）。

別表 27

診療科目別入院患者の状況（療養病床）

診療科	年 度	令和4年度			令和3年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
0 床	弥栄病院								
	内 科	0	0.0	-	1,798	30.0	100.0	△ 1,798	△ 30.0
	外 科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	整形外科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	産婦人科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	小児科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	リハビリテーション科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
	精神科	0	0.0	-	0	0.0	0.0	0	0.0
小 計	0	0.0	-	1,798	30.0	100.0	△ 1,798	△ 30.0	
60 床	久美浜病院								
	内 科	10,634	29.1	65.6	11,925	32.7	69.8	△ 1,291	△ 3.6
	外 科	3,545	9.7	21.9	3,337	9.2	19.6	208	0.5
	整形外科	1,205	3.3	7.3	526	1.4	3.1	679	1.9
	小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	837	2.3	5.2	1,288	3.5	7.5	△ 451	△ 1.2
	歯科・歯科 口腔外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	心療内科・ 精 神 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小 計	16,221	44.4	100.0	17,076	46.8	100.0	△ 855	△ 2.4	
合 計	16,221	44.4		18,874	76.8		△ 2,653	△ 32.4	

別表28

診療科目別外来患者の状況

診療科		令和4年度			令和3年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥 栄 病 院	内科	27,693	114.0	29.3	24,564	101.5	26.1	3,129	12.5
	外科	1,471	6.0	1.5	1,737	7.2	1.8	△ 266	△ 1.2
	整形外科	18,698	76.9	19.8	19,482	80.5	20.7	△ 784	△ 3.6
	産婦人科	7,143	29.4	7.6	7,952	32.9	8.4	△ 809	△ 3.5
	小児科	3,670	15.1	3.9	3,606	14.9	3.8	64	0.2
	耳鼻咽喉科	1,478	6.1	1.6	1,661	6.8	1.8	△ 183	△ 0.7
	眼科	13,746	56.6	14.6	14,531	60.0	15.4	△ 785	△ 3.4
	泌尿器科	1,623	6.7	1.7	1,673	6.9	1.8	△ 50	△ 0.2
	人工透析	8,362	34.4	8.9	8,951	37.0	9.5	△ 589	△ 2.6
	リハビリテーション科	782	3.2	0.8	797	3.3	0.8	△ 15	△ 0.1
	皮膚科	2,340	9.6	2.5	2,421	10.0	2.6	△ 81	△ 0.4
	総合診療科	3,015	12.4	3.2	2,660	11.0	2.8	355	1.4
	精神科	4,316	17.8	4.6	4,258	17.6	4.5	58	0.2
	小計	94,337	388.2	100.0	94,293	389.6	100.0	44	△ 1.4
久 美 浜 病 院	内科	25,904	106.6	33.5	24,937	103.0	33.9	967	3.6
	外科	5,057	20.8	6.5	5,457	22.5	7.4	△ 400	△ 1.7
	整形外科	6,259	25.7	8.1	5,970	24.7	8.1	289	1.0
	小児科	11,971	49.3	15.5	9,001	37.2	12.2	2,970	12.1
	皮膚科	1,316	5.4	1.7	1,424	5.9	2.0	△ 108	△ 0.5
	眼科	3,861	15.9	5.0	3,538	14.6	4.8	323	1.3
	耳鼻咽喉科	1,285	5.3	1.7	1,352	5.6	1.9	△ 67	△ 0.3
	泌尿器科	3,365	13.8	4.4	3,596	14.8	4.9	△ 231	△ 1.0
	歯科・歯科 口腔外科	17,880	73.6	23.1	17,900	74.0	24.3	△ 20	△ 0.4
	心療内科・ 精神科	387	1.6	0.5	378	1.6	0.5	9	0.0
	小計	77,285	318.0	100.0	73,553	303.9	100.0	3,732	14.1
合計	171,622	706.2		167,846	693.5		3,776	12.7	

別表29 病床利用率

(単位：%)

区分	算出方法	年度		令和4年度	令和3年度	令和2年度	対前年比
		病院					
一般病床 ※	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計		69.1	72.3	69.4	△ 3.2
		弥栄病院		67.7	66.8	66.0	0.9
		久美浜病院		71.3	80.5	74.0	△ 9.2
療養病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計		74.1	76.0	79.2	△ 1.9
		弥栄病院		0.0	61.2	82.9	△ 61.2
		久美浜病院		74.1	78.0	76.2	△ 3.9

※ 弥栄病院の病床数は、一般病床162床（一般病床199床中、休床37床）。

久美浜病院の病床数は、一般病床107床（一般病床110床中、休床3床）。

別表30 患者1人1日当たり診療収入

(単位：円)

区分	算出方法	年度		令和4年度	令和3年度	令和2年度	対前年比
		病院					
入院診療収入 (一般病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計		42,636	40,772	37,821	1,864
		弥栄病院		44,534	42,571	39,965	1,963
		久美浜病院		39,910	38,538	35,211	1,372
入院診療収入 (療養病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計		17,454	16,656	18,586	798
		弥栄病院		0	19,863	19,827	△ 19,863
		久美浜病院		17,454	16,318	17,482	1,136
外来診療収入	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	合計		10,763	12,652	13,080	△ 1,889
		弥栄病院		10,941	15,409	16,135	△ 4,468
		久美浜病院		10,546	9,119	9,040	1,427
訪問看護収入	$\frac{\text{訪問看護事業収益}}{\text{年延訪問看護患者数}}$	合計		9,340	9,452	9,280	△ 112
		弥栄病院		9,105	9,306	9,333	△ 201
		久美浜病院		9,678	9,672	9,193	6
通所リハビリ収入	$\frac{\text{通所リハビリ事業収益}}{\text{年延通所患者数}}$	合計		10,567	10,789	9,189	△ 222
		弥栄病院		/	/	/	/
		久美浜病院		10,567	10,789	9,189	△ 222

別表31 病院事業収支比率

(単位：%)

区分	算出方法	年度		令和4年度	令和3年度	令和2年度	対前年比
		病院					
経常収支比率	$\frac{\text{医業収益+医業外収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+医業外費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計		100.8	100.3	96.0	0.5
		弥栄病院		100.8	100.1	94.4	0.7
		久美浜病院		100.7	100.6	98.5	0.1
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計		86.2	88.4	87.6	△ 2.2
		弥栄病院		83.8	86.5	87.8	△ 2.7
		久美浜病院		89.6	91.2	87.1	△ 1.6

別表 32

病院事業収益の収支（税込）

（単位：千円）

区 分 \ 年 度		令和4年度			令和3年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
収益的 収入	医 業 収 益	5,724,229	3,247,855	2,476,374	6,079,940	3,620,202	2,459,738
	医 業 外 収 益	1,301,919	870,290	431,629	1,181,925	803,201	378,724
	訪問看護事業収益	207,758	119,452	88,306	211,251	124,938	86,313
	通所リハビリテ- ーション事業収益	38,178		38,178	41,817		41,817
	特 別 利 益	84,725	20,349	64,376	7,323	4,323	3,000
	合 計	7,356,809	4,257,946	3,098,863	7,522,256	4,552,664	2,969,592
収益的 支出	医 業 費 用	6,902,489	4,010,234	2,892,255	7,186,994	4,367,616	2,819,378
	医 業 外 費 用	110,403	79,741	30,662	119,928	81,538	38,390
	訪問看護事業費用	169,853	105,279	64,574	160,155	98,390	61,765
	通所リハビリテ- ーション事業費用	28,373		28,373	30,976		30,976
	特 別 損 失	451,637	218,153	233,484	12,877	2,100	10,777
	予 備 費	0	0	0	0	0	0
	合 計	7,662,755	4,413,407	3,249,348	7,510,930	4,549,644	2,961,286

別表 33

病院事業資本の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		令和4年度			令和3年度			
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
資 本 的 収 入	企 業 債	423,500	176,200	247,300	174,200	107,700	66,500	
	他 会 計 出 資 金	0	0	0	325,424	155,608	169,816	
	他 会 計 負 担 金	368,115	178,114	190,001	36,934	13,563	23,371	
	補 助 金	72,785	55,536	17,249	12,606	7,041	5,565	
	長期貸付金返還金	2,650	1,325	1,325	2,975	1,487	1,488	
	寄 附 金	0	0	0	0	0	0	
	小 計	867,050	411,175	455,875	552,139	285,399	266,740	
	補 填 財 源	消費税及び地方 消費税資本の 収 支 調 整 額	0			0		
		繰越工事資金	0			0		
		損 益 勘 定 留 保 資 金 等	276,491	125,496	150,995	229,849	114,332	115,517
利 益 剩 余 金		0			0			
小 計		276,491	125,496	150,995	229,849	114,332	115,517	
合 計	1,143,541	536,671	606,870	781,988	399,731	382,257		
資 本 的 支 出	建 設 改 良 費	560,738	245,971	314,767	229,975	137,585	92,390	
	企 業 債 償 還 金	566,243	282,420	283,823	540,853	256,567	284,286	
	長 期 貸 付 金	16,560	8,280	8,280	11,160	5,580	5,580	
	合 計	1,143,541	536,671	606,870	781,988	399,732	382,256	

別表 34

病院事業損益計算書（税抜）

（単位：千円）

区 分	年 度	令和4年度			令和3年度			対前年比			対前年度比 計 (%)
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業収益 (A)		7,330,571	4,241,588	3,088,983	7,490,157	4,532,752	2,957,405	△ 159,586	△ 291,164	131,578	△ 2.1
医業収益		5,700,340	3,232,688	2,467,652	6,050,888	3,601,298	2,449,590	△ 350,548	△ 368,610	18,062	△ 5.8
入院収益		3,177,745	1,782,866	1,394,879	3,187,143	1,697,641	1,489,502	△ 9,398	85,225	△ 94,623	△ 0.3
外来収益		1,847,219	1,032,138	815,081	2,123,628	1,452,914	670,714	△ 276,409	△ 420,776	144,367	△ 13.0
他会計負担金		427,070	246,854	180,216	441,412	250,745	190,667	△ 14,342	△ 3,891	△ 10,451	△ 3.2
その他医業収益		248,306	170,830	77,476	298,705	199,998	98,707	△ 50,399	△ 29,168	△ 21,231	△ 16.9
医業外収益		1,299,571	869,099	430,472	1,178,877	802,192	376,685	120,694	66,907	53,787	10.2
受取利息配当金		6	4	2	5	4	1	1	0	1	20.0
他会計補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
補助金		505,695	422,268	83,427	585,632	486,529	99,103	△ 79,937	△ 64,261	△ 15,676	△ 13.6
負担金交付金		492,036	264,913	227,123	477,239	266,748	210,491	14,797	△ 1,835	16,632	3.1
患者外給食収益		1,652	1,613	39	1,698	1,567	131	△ 46	46	△ 92	△ 2.7
長期前受金戻入		246,342	160,258	86,084	70,104	33,342	36,762	176,238	126,916	49,322	251.4
その他医業外収益		53,840	20,043	33,797	44,199	14,002	30,197	9,641	6,041	3,600	21.8
訪問看護事業収益		207,757	119,451	88,306	211,252	124,939	86,313	△ 3,495	△ 5,488	1,993	△ 1.7
訪問看護療養費収益		192,830	111,228	81,602	194,981	115,863	79,118	△ 2,151	△ 4,635	2,484	△ 1.1
利用料収益		14,927	8,223	6,704	16,271	9,076	7,195	△ 1,344	△ 853	△ 491	△ 8.3
通所リハビリテーション事業収益		38,178		38,178	41,817		41,817	△ 3,639		△ 3,639	△ 8.7
通所リハビリテーション療養費収益		32,138		32,138	35,151		35,151	△ 3,013		△ 3,013	△ 8.6
利用料収益		6,040		6,040	6,666		6,666	△ 626		△ 626	△ 9.4
特別利益		84,725	20,350	64,375	7,323	4,323	3,000	77,402	16,027	61,375	1,057.0
過年度損益修正益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
長期前受金戻入		79,899	16,054	63,845	0	0	0	79,899	16,054	63,845	—
その他特別利益		4,826	4,296	530	7,323	4,323	3,000	△ 2,497	△ 27	△ 2,470	△ 34.1

(単位：千円)

区 分	年 度	令和4年度			令和3年度			対前年比(R3-R2)			対前年度比 計 (R3/R2) *100-100 (%)
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業費用 (B)		7,642,237	4,405,428	3,236,809	7,473,453	4,526,806	2,946,647	168,784	△ 121,378	290,162	2.3
医業費用		6,699,940	3,897,623	2,802,317	6,942,609	4,208,237	2,734,372	△ 242,669	△ 310,614	67,945	△ 3.5
給与費		4,036,377	2,243,895	1,792,482	3,977,713	2,212,410	1,765,303	58,664	31,485	27,179	1.5
材料費		998,223	684,721	313,502	1,364,351	1,052,447	311,904	△ 366,128	△ 367,726	1,598	△ 26.8
経 費		1,075,842	529,160	546,682	1,019,676	503,317	516,359	56,166	25,843	30,323	5.5
減価償却費		566,093	428,844	137,249	561,346	429,484	131,862	4,747	△ 640	5,387	0.8
資産減耗費		4,210	2,769	1,441	4,312	3,086	1,226	△ 102	△ 317	215	△ 2.4
研究研修費		19,195	8,234	10,961	15,211	7,493	7,718	3,984	741	3,243	26.2
医業外費用		293,523	184,879	108,644	327,866	218,572	109,294	△ 34,343	△ 33,693	△ 650	△ 10.5
支払利息及び企業債取 扱諸費		48,331	33,479	14,852	55,207	34,988	20,219	△ 6,876	△ 1,509	△ 5,367	△ 12.5
長期前払消費税償却		42,336	32,537	9,799	41,836	32,200	9,636	500	337	163	1.2
患者外給食材料費		1,621	1,613	8	1,727	1,567	160	△ 106	46	△ 152	△ 6.1
雑損失		201,235	117,250	83,985	229,096	149,817	79,279	△ 27,861	△ 32,567	4,706	△ 12.2
訪問看護事業費用		169,055	104,773	64,282	159,425	97,897	61,528	9,630	6,876	2,754	6.0
給与費		162,054	100,222	61,832	153,320	93,622	59,698	8,734	6,600	2,134	5.7
材料費		91	91	0	188	97	91	△ 97	△ 6	△ 91	△ 51.6
経 費		6,759	4,425	2,334	5,828	4,115	1,713	931	310	621	16.0
研究研修費		151	35	116	89	63	26	62	△ 28	90	69.7
通所リハビリテーション事 業費用		28,082		28,082	30,676		30,676	△ 2,594		△ 2,594	△ 8.5
給与費		24,929		24,929	27,421		27,421	△ 2,492		△ 2,492	△ 9.1
材料費		1,159		1,159	1,282		1,282	△ 123		△ 123	△ 9.6
経 費		1,758		1,758	1,909		1,909	△ 151		△ 151	△ 7.9
研究研修費		236		236	64		64	172		172	268.8
特別損失		451,637	218,153	233,484	12,877	2,100	10,777	438,760	216,053	222,707	3,407.3
過年度損益修正損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
その他特別損失		451,637	218,153	233,484	12,877	2,100	10,777	438,760	216,053	222,707	3,407.3
当年度純損益 (A)-(B)		△ 311,666	△ 163,840	△ 147,826	16,704	5,946	10,758	△ 328,370	△ 169,786	△ 158,584	△ 1,965.8
当年度未処理欠損金		3,692,326	2,011,927	1,680,399	3,380,660	1,848,087	1,532,573	311,666	163,840	147,826	9.2
総収益対総費用比率 (A)/(B)		95.9	96.3	95.4	100.2	100.1	100.4	△ 4.3	△ 3.8	△ 5.0	

(注) 制度改正に伴い、平成26年度以降の当年度未処理欠損金は、(前年度繰越欠損金+当年度純損益-その他未処分利益剰余金変動額)により計算

別表 35

病院事業資産

(単位：千円)

区 分	年 度	令和4年度末 償却未済高			令和3年度末 償却未済高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定資産		7,761,505	5,822,293	1,939,212	7,817,752	6,047,290	1,770,462
有形固定資産		7,334,832	5,491,531	1,843,301	7,403,680	5,707,981	1,695,699
土地		511,888	101,998	409,890	511,889	101,999	409,890
建物		5,308,293	4,430,141	878,152	5,513,934	4,581,154	932,780
構築物		221,481	195,852	25,629	238,796	211,028	27,768
器械及び備品		1,264,923	740,629	524,294	1,097,189	779,233	317,956
車両		12,710	7,374	5,336	13,431	6,126	7,305
リース資産		15,537	15,537	0	25,512	25,512	0
その他有形固定資産		0	0	0	0	0	0
建設仮勘定		0	0	0	2,929	2,929	0
無形固定資産		1,510	523	987	1,649	523	1,126
電話加入権		523	523	0	523	523	0
ソフトウェア		0	0	0	0	0	0
下水道利用権		987	0	987	1,126	0	1,126
投資		425,163	330,239	94,924	412,423	338,786	73,637
長期貸付金		56,770	28,385	28,385	49,460	24,730	24,730
長期前払消費税		368,393	301,854	66,539	362,963	314,056	48,907
流動資産		1,631,023	1,043,560	587,463	1,400,700	882,970	517,730
現金預金		491,888	358,082	133,806	335,206	221,053	114,153
未収金		1,113,425	676,903	436,522	1,035,939	645,168	390,771
貯蔵品		25,614	8,479	17,135	29,464	16,658	12,806
その他流動資産		96	96	0	91	91	0
合 計		9,392,528	6,865,853	2,526,675	9,218,452	6,930,260	2,288,192

別表 36

病院事業負債

(単位：千円)

区 分	年 度	令和4年度末 現在高			令和3年度末 現在高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定負債		6,164,559	5,335,151	829,408	6,248,078	5,443,512	804,566
企業債		6,161,696	5,332,288	829,408	6,242,730	5,438,164	804,566
リース債務		2,863	2,863	0	5,348	5,348	0
流動負債		1,960,533	918,472	1,042,061	1,932,890	969,947	962,943
一時借入金		650,000	250,000	400,000	760,000	300,000	460,000
企業債		541,734	296,076	245,658	566,243	282,420	283,823
リース債務		2,485	2,485	0	9,291	9,291	0
未払金		511,811	222,653	289,158	349,816	234,908	114,908
引当金		236,055	132,421	103,634	231,174	129,939	101,235
その他流動負債		18,448	14,837	3,611	16,366	13,389	2,977
繰延収益		1,101,269	613,580	487,689	585,986	360,936	225,050
長期前受金		4,854,030	2,426,754	2,427,276	4,458,779	2,212,780	2,245,999
長期前受金収益化累計額		△ 3,752,761	△ 1,813,174	△ 1,939,587	△ 3,872,793	△ 1,851,844	△ 2,020,949
負債合計 (ア)		9,226,361	6,867,203	2,359,158	8,766,954	6,774,395	1,992,559

別表 37

病院事業資本金

(単位：千円)

区 分	年 度	令和4年度決算額			令和3年度決算額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固有資本金		28,065	15,532	12,533	28,065	15,532	12,533
出 資 金		1,023,861	471,147	552,714	1,023,861	471,147	552,714
組入資本金		397,421	397,421	0	397,421	397,421	0
資 本 金 合 計 (イ)		1,449,347	884,100	565,247	1,449,347	884,100	565,247

別表 38

病院事業剰余金

(単位：千円)

区 分	年 度	令和4年度決算額			令和3年度決算額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
資本剰余金		2,409,146	1,126,478	1,282,668	2,382,811	1,119,853	1,262,958
受贈財産評価額		51,061	8,440	42,621	51,061	8,440	42,621
寄 附 金		8,075	6,075	2,000	8,075	6,075	2,000
他会計負担金		1,816,541	681,646	1,134,895	1,816,541	681,646	1,134,895
補 助 金		393,359	383,151	10,208	393,359	383,151	10,208
その他資本剰余金		140,110	47,166	92,944	113,775	40,541	73,234
利益剰余金 (a+b+c-d)		△ 3,692,326	△ 2,011,928	△ 1,680,398	△ 3,380,660	△ 1,848,088	△ 1,532,572
減債積立金 a		0	0	0	0	0	0
利益積立金 b		0	0	0	0	0	0
建設改良積立金 c		0	0	0	0	0	0
当年度未処理欠損金 d		3,692,326	2,011,928	1,680,398	3,380,660	1,848,088	1,532,572
(うち当年度純損益)		(△ 311,666)	(△ 163,840)	(△ 147,826)	(16,704)	(5,946)	(10,758)
剰 余 金 合 計 (ウ)		△ 1,283,180	△ 885,450	△ 397,730	△ 997,849	△ 728,235	△ 269,614
資 本 合 計 (イ)+(ウ)		166,167	△ 1,350	167,517	451,498	155,865	295,633
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)		9,392,528	6,865,853	2,526,675	9,218,452	6,930,260	2,288,192